



I T講習会用テキスト

今日からはじめる  
やさしい

パソコン

Windows 10  
ウィンドウズ  
10版





IT講習会用テキスト

# 今日からはじめる やさしい パソコン



- ※Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- ※Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※その他、本書に記載されている会社名、製品名などは、一般にそれぞれ各社の商号・登録商標または商標です。
- ※本書は、独立の出版物であり、マイクロソフトコーポレーションと提携しているものではなく、また、マイクロソフトコーポレーションが許諾、後援、その他の承認をするものではありません。
- ※本書は、Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ※本書では™および®の記載は省略しました。
- ※本書の操作は主に、Microsoft Windows 10によるものであり、お使いのバージョンあるいは環境・設定等によって本書の操作例・表示色等と異なる場合があります。
- ※本書に記載のURL等は執筆時点のものであり、予告なく変更される場合があります。
- ※本書の使用(本書のとおり操作を行う場合を含む)により、万一、直接的・間接的に損害等が発生しても、出版社および編著者は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## はじめに

本書は、前作「今日からはじめる やさしいパソコン ウィンドウズ8.1版」をウィンドウズ10バージョンに改訂したものです。これからパソコンを覚えたいと思っているパソコン初心者を対象とした入門書です。

本書は、前作同様、次のような方針で執筆しました。

1. パソコンを1からはじめる初心者のレベルに視点を合わせる
2. 専門用語、カタカナをなるべく使わずに、わかりやすいことばで表現する
3. 必要最低限の操作に的を絞って解説する
4. 初心者に起こりがちなトラブルについて取り上げ、その解決方法を説明する

Windows10では操作性が大幅に改善され、Windows8.1で採用されていたスタート画面がデスクトップ画面に統合されました。すべての操作をデスクトップ画面から行えるようになっています。8.1までの使い勝手とは異なるため、初心者は戸惑うことも多いでしょう。そこで本書では、より使いやすく理解しやすい画面を選んで、インターネットやメール、デジカメや音楽CDの楽しみ方を解説しています。

パソコンに興味はあっても、果たして自分にできるかと心配だったり、なかなかきっかけがつかめず二の足を踏んでいたりする方の、背中を押す役割を本書が果たせれば幸いです。

### 本書の使い方

本書は主に、ページの左側には操作画面を、右側には操作手順を載せています。操作画面はなるべく省略しないように掲載していますので、パソコンに慣れていない方でも、操作番号の手順通りに進んでいけば、目的の操作が楽しめるようになっています。

また、「ちょっとひとこと」では、覚えておくと便利なちょっとした豆知識などをご紹介します。

なお、本書内に出てくる★マークは、初心者の立場から見た操作の難易度を表しています。パソコン習得の目安にお役立てください。

簡単	★★★★
やや慎重に	★★★★
かなり慎重に	★★★★
何度も練習が必要	★★★★







# 目次



はじめに／本書の使い方

## 第1章 パソコンのしくみを覚えましょう ..... 1

- 1-1 パソコンにはこんな種類があります ..... 2
- 1-2 それぞれの名前を覚えましょう ..... 4
- 1-3 パソコンの中にはなにがある? ..... 6

## 第2章 パソコンのルールを覚えましょう ..... 9

- 2-1 パソコンの電源を入れる ..... 10
- 2-2 はじめに出てくる画面の見方 ..... 14
- 2-3 マウスの使い方 ..... 18
- 2-4 やりたいことはここから『スタート』 ..... 34
- 2-5 ウィンドウのルール ..... 40
- 2-6 パソコンの電源を切る ..... 59
- 2-7 困ったときはこれで解決! ..... 62

## 第3章 文字を入れてみましょう ..... 65

- 3-1 ローマ字のつづり方を覚えましょう ..... 66
- 3-2 日本語を入れるには ..... 70
- 3-3 正しい姿勢と指の置き方 ..... 73
- 3-4 いろいろな文字を入れてみましょう ..... 74
- 3-5 うまく変換されないときは ..... 91
- 3-6 行を変える、間を空ける ..... 96
- 3-7 入力した文章を保存するには ..... 100
- 3-8 困ったときはこれで解決! ..... 105

## 第4章 紙に印刷するには ..... 113

- 4-1 プリンターにはこんな種類があります ..... 114
- 4-2 プリンターをつないでみましょう ..... 118
- 4-3 印刷してみましょう ..... 120
- 4-4 困ったときはこれで解決! ..... 129





## 第5章 いよいよインターネットの世界へ ..... 131

- 5-1 インターネットを利用するには ..... 132
- 5-2 ホームページをのぞいてみましょう ..... 140
- 5-3 アプリのダウンロードとインストール ..... 168

## 第6章 メールでコミュニケーション！ ..... 171

- 6-1 メールを利用するには ..... 172
- 6-2 メールを送ってみましょう ..... 179
- 6-3 さらに便利に！ メール術あれこれ ..... 190

## 第7章 デジカメ写真を楽しみましょう ..... 197

- 7-1 デジカメからパソコンに取り込んでみましょう ..... 198
- 7-2 取り込んだ写真を見てみましょう ..... 202
- 7-3 写真をDVDに保存してみましょう ..... 210

## 第8章 音楽CDを楽しみましょう ..... 217

- 8-1 パソコンで音楽を聴いてみましょう ..... 218
- 8-2 CDの曲をパソコンに取り込んでみましょう ..... 225
- 8-3 取り込んだ曲を再生してみましょう ..... 227

## 第9章 パソコンと長くつき合うために ..... 231

- 9-1 パソコンを使いやすくするひと工夫 ..... 232
- 9-2 パソコンのお手入れ ..... 238

索引 ..... 243

付録 ローマ字による50音の表記法  
指の分担とホームポジション







# 第1章

## パソコンのしくみを覚えましょう

1-1 パソコンにはこんな種類があります

1-2 それぞれの名前を覚えましょう

1-3 パソコンの中にはなにがある？



# 第1章

## パソコンのしくみを覚えましょう

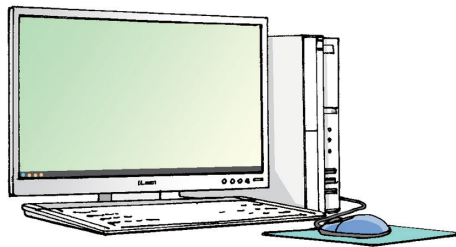


### 1

### パソコンにはこんな種類があります

大きな画面と打ちやすいキーボード  
デスクトップパソコン

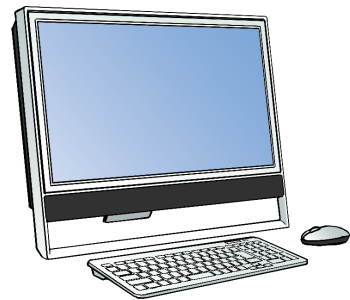
#### セパレート型



5万円～25万円位

ディスプレイと本体が別々になっている従来機種です。性能を高める部品を追加したり、ディスプレイを取り替えたりできるので、ビジネス用としてニーズがあります。

#### 一体型

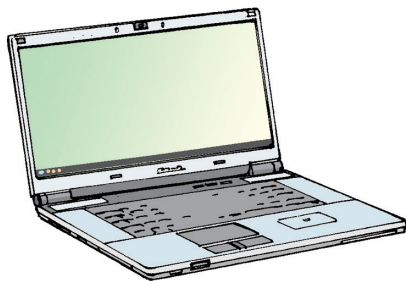


5万円～25万円位

ディスプレイと本体が一体になっています。ケーブルをごちゃごちゃとつなぐ必要がないため、設置がラクです。テレビ機能が付いた20型以上の大画面タイプが主流です。

持ち歩ける(困ったときに、持参して教えてもらえる)  
ノートパソコン

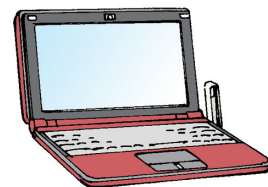
#### スタンダード



5万円～20万円位

大きさはA4ファイルサイズ以上で、重量は2.5kg以上と少々重量がありますが、家の中だけで移動するならおすすめです。ディスプレイが大きめの15.6型ワイドが人気です。

#### モバイル



5万円～25万円位

大きさはB5ファイルサイズ以下が主流で、重量は1.5kgぐらいと軽く薄型。頻繁に持ち歩く方におすすめです。ウルトラブックと呼ばれる超薄型軽量タイプもあり人気です。

## ■ ウィンドウズ10はタッチ対応

指先をタッチして操作できるスマートフォンや、iPadなどに代表されるタブレット端末が人気を集めています。このWindows 10でもタッチ操作のしくみを取り入れられていて、ディスプレイをタッチするだけで簡単に操作できるようになっています。

パソコンメーカーもデスクトップパソコン、ノートパソコン問わずディスプレイにタッチパネル機能を搭載し、「タッチ対応パソコン」として売り出すようになりました。特にモバイルノートパソコンでは、ディスプレイをキーボード側から切り離せるタイプや、キーボードが360度回転してディスプレイの裏側に折り曲げられるタイプ、キーボードを極薄型にしたタイプなど、新機種が続々と登場しています。





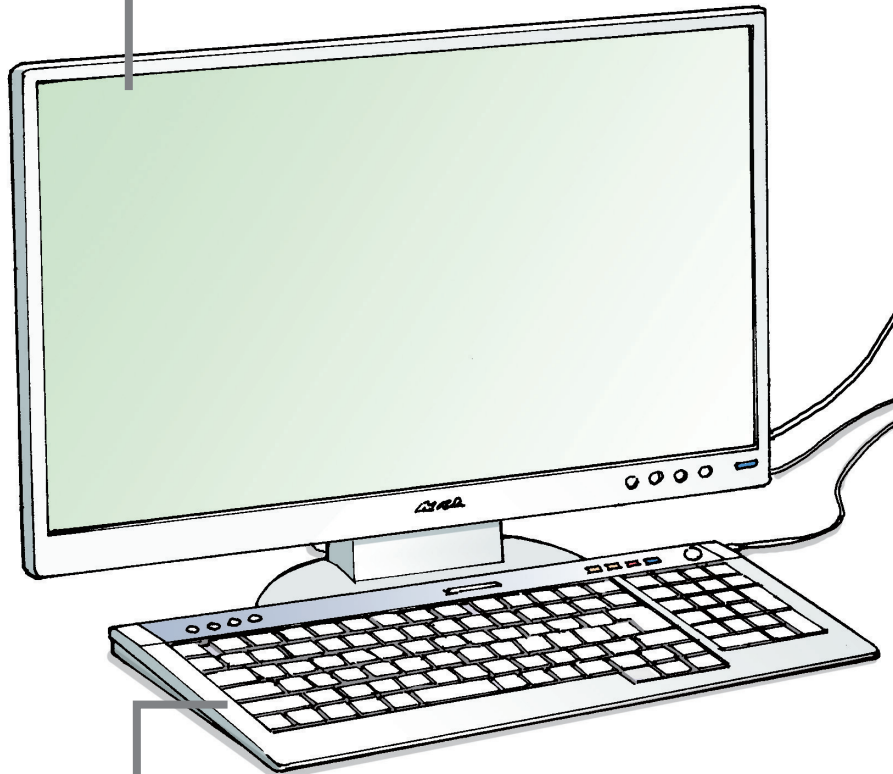
## 2

### それぞれの名前を覚えましょう

パソコンの各部分の名前と特徴を覚えましょう。  
ここでは、デスクトップパソコン（セパレート型）の構成を例にとって解説します。

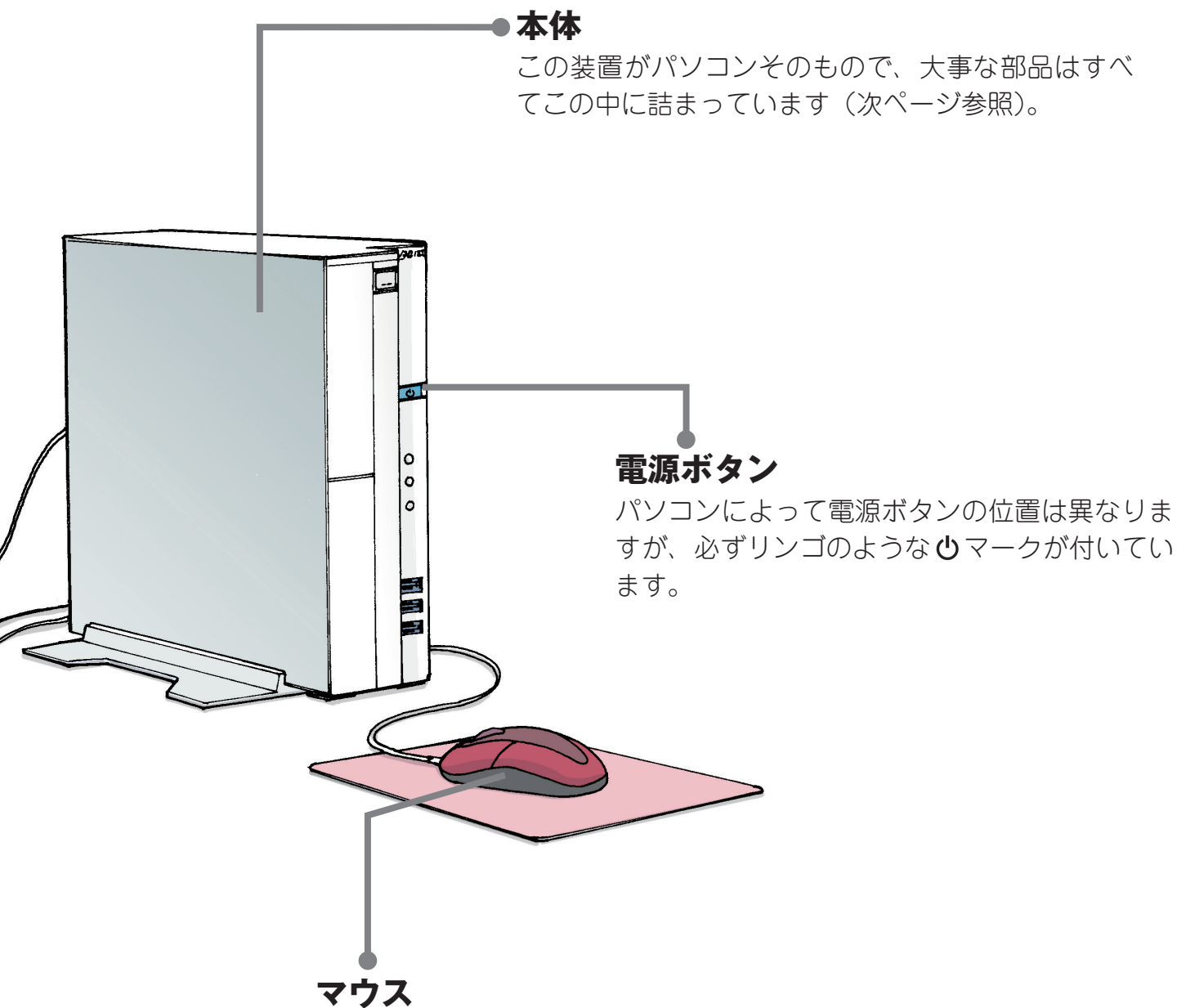
#### ディスプレイ

文字や画像などを表示する装置のこと。  
タッチパネル機能が搭載されている場合は、画面を指先のタッチで操作できます。



#### キーボード


文字を入力する装置のこと。  
アルファベットの配列は、ワープロ専用機や英文タイプと同じです。  
キーボードに慣れることが、パソコン克服への第一歩となるでしょう。



### ● 本体

この装置がパソコンそのもので、大事な部品はすべてこの中に詰まっています（次ページ参照）。

### ● 電源ボタン

パソコンによって電源ボタンの位置は異なりますが、必ずリンゴのような  マークが付いています。

### ● マウス

パソコンに指示を出す装置のこと。  
形がねずみに似ていることから、マウスと呼ばれています。  
ねずみのようにチョロチョロ逃げるわけではありませんが、  
はじめのうちはなかなか思いどおりに動いてくれません。

ノートパソコンの場合、マウスが付いていない場合もあります。  
ディスプレイのタッチパネル機能や、マウスの代わりになるものが本体にありますが、初心者には使いづらい面もあるので、別売りのマウスを購入した方がよいでしょう。

# 3

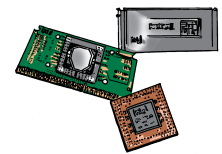
## パソコンの中にはなにがある？

パソコンは見た目は同じでも、本体の中に組み込まれている部品の性能によって価格が上下します。車と同じで、エンジンが高性能になると、その分値段も上がっていくというわけです。

### ● 本体に組み込まれている3大部品

#### ■ CPU（シーピーユー）

中央演算処理装置のこと。処理速度はGHz（ギガヘルツ）という単位で表し、数値が大きいほど、処理能力が高くて性能のよいパソコンといえます。人間にたとえると、頭の回転の速さにあたります。



1.5GHz以上がおすすめ

#### ■ HDD（ハードディスク、エイチディーディー）

データを保存しておくための記憶装置のこと。記憶できる容量をGB（ギガバイト）やTB（テラバイト）という単位で表します。数値が大きいほどたくさん保存できます。

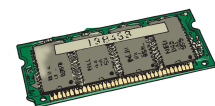


320GB以上がおすすめ

最近では、SSD（エスエスディー）という新しい記憶装置も普及してきました。HDDに比べて容量が少なく高価ではありますが、データの読み書きが高速・軽量・省電力と優れた性能を持っています。

#### ■ メモリ

一時的にデータを記憶しておく装置のこと。記憶できる容量をGB（ギガバイト）という単位で表します。数値が大きいほど反応が速くなるので、複数の作業を同時に行ってもイライラせずに使えます。



4GB以上がおすすめ



## ちょっとひとこと

### パソコンでこんなことをしたいなら

デジカメで撮った写真やビデオ映像の編集、テレビを楽しみたいと思っている人は、左記のものより高性能の機種を選びましょう。CPUは2.5GHz以上、ハードディスクは2TB以上、メモリは8GB以上が理想です。

また、主にビジネス用で使われているワープロソフトWord（ワード）や表計算ソフトExcel（エクセル）などを利用したい場合は、それらがパソコンに入っているかどうかを確認しましょう。パソコンショップでは、たいていOfficeソフトという名称で扱われています。これが入っているかどうかでパソコンの値段も変わります。

### パソコンショップへ行きましょう

パソコン選びは、使う本人でなければ判断できないことがたくさんあります。

- 画面の大きさや映り具合は満足できるか
- キーボードの押し心地はいいか
- キーボードの大きさは自分の手の大きさに合っているか
- キーボードに書いてある文字は読みやすいか

などをポイントに、実物をじっくり見て触った上で購入しましょう。



# memo



# 第2章

## パソコンのルールを覚えましょう

- 2-1 パソコンの電源を入れる
- 2-2 はじめに出てくる画面の見方
- 2-3 マウスの使い方
- 2-4 やりたいことはここから『スタート』
- 2-5 ウィンドウのルール
- 2-6 パソコンの電源を切る
- 2-7 困ったときはこれで解決！





# 第2章

## パソコンのルールを覚えましょう



この章では、パソコンの基本ルールを担当している**ウィンドウズ10**の操作方法について解説します。横文字がたくさん出てくるので一見とっつきにくいかもしれませんが、意味を理解すれば大丈夫です。

### 1 パソコンの電源を入れる



#### ● 購入後はじめて電源を入れるなら

パソコンは、テレビのようにスイッチを入れてからすぐに使えるわけではありません。**ウィンドウズのセットアップ**といって、**使いはじめる前に、利用の登録作業を行う必要がある**からです。メーカーや機種によっても異なりますが、この作業を完了するまで約15分程度かかり、途中で止めることはできません。

パソコンが普及するにつれ、この作業もだいぶ簡略化されてきました。ですが、まったくはじめてパソコンに触れる人にとっては、少し荷が重いかもしれません。この作業は、有料ですが専門業者に依頼することもできます。パソコンを購入する際にお店の人に相談してみましょう。

なお、本書では、**セットアップ作業が完了しているものとして解説していきます。**

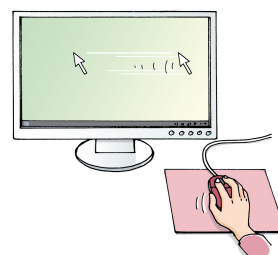
#### ● 電源ボタンを押す前に

電源を入れてから、すぐにマウスやキーボードを使うことになります。はじめて使う場合は、緊張のせいか、ぎこちない動きになりがちです。電源を入れる前なら、いくら失敗しても構いませんので、前もってマウスやキーボードに触って、手を慣らしておきましょう。

#### ■ マウスを動かしてみよう

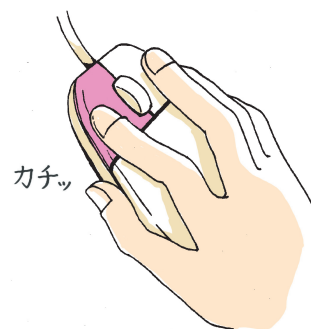
電源を入れると（今は入れないでください）、画面に白い矢印が出てきます。その矢印は、**マウスの動きに連動**しています。つまりマウスを机の上で右に動かすと、画面上の矢印も右へ動く仕組みになっています。

今はなにも映りませんが、マウスに指をあてて動かす練習をしてみましょう。詳しい使い方については、18ページを参考にしてください。



## ■ マウスのボタンを押してみましよう

はじめは、マウスの左ボタンを“カチッ”と1回押す操作のみ必要になります。この操作を**クリック**といいます。まちがえて右ボタンを押してしまわないように、何度も練習してみましょう。詳しい使い方については、22ページを参考にしてください。



## ■ キーボードのキーを押してみましよう

キーボードを使って、セットアップ時に決めたパスワードを入れる必要があります。キーの位置を確認して実際に押してみましょう。最初は緊張してキーを強く押してしまいがちです。押しすぎにより同じ文字をいくつも入れてしまわないように、キーを軽く叩くつもりで操作してみてください。

## ● 電源を入れる

マウスやキーボードには慣れましたか？  
準備が整ったところで、いよいよ電源を入れてみましょう。



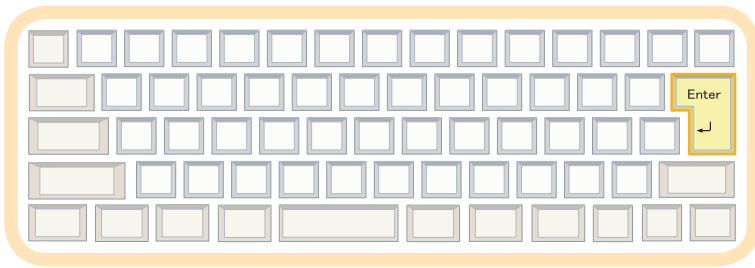
### 1

パソコンの電源ボタンを押します。

◀ 少しすると、**ロック画面**が表示されます。

### ポイント!

ロック画面は、パソコンの操作ができないように保護された画面です。タッチ対応パソコンの場合、いつの間にか画面に触れてしまい意図しない動作が起こることもあるため、誤操作を防止するために用意された画面です。

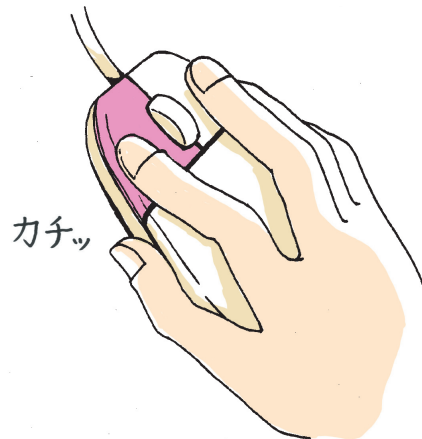


## 2

キーボードの右側にある一番大きな  
[Enter(エンター)]キーを押します。

### ポイント!

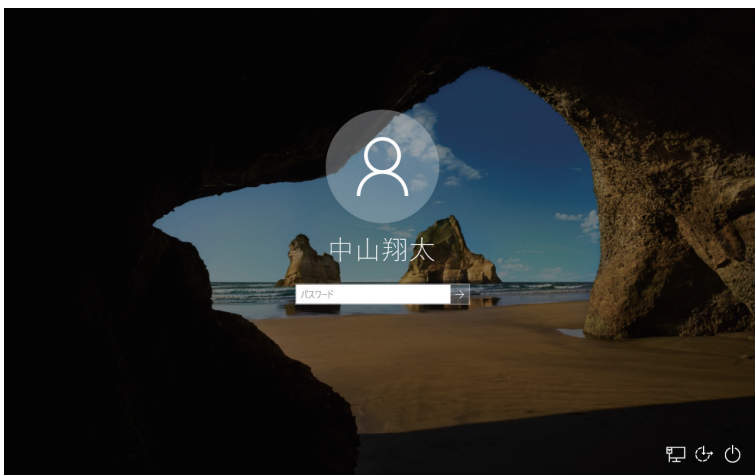
この方法が一番うまくいくのでお  
すすめです。



マウスの場合は、左ボタンを“カ  
チッ”と1回押します(クリック)。



タッチ対応パソコンの場合は、画  
面の上を指で下から上に向かって動か  
します(スライド)。下に隠れてい  
る画面を指で持ち上げるようなイ  
メージです。



◀ パスワードを入力する**サインイン**画  
面に切り替わります。

設定によっては、この画面が表示さ  
れない場合もあります。表示されな  
いときは、13ページのデスクトップ  
画面がすぐに表示されます。



### 3

ユーザー名を確認します。  
ユーザー名はパソコンを使う上での自分専用の名前にあたり、セットアップ時に決めたものが表示されます。

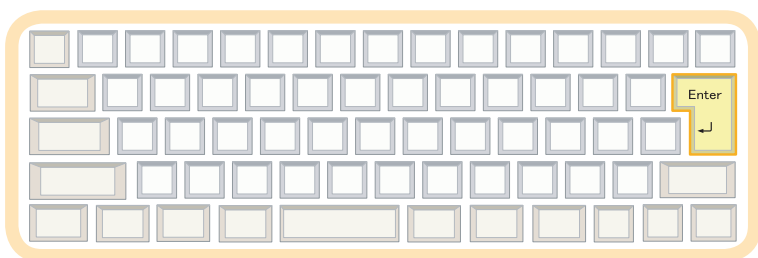


### 4

パスワードをキーボードから入力します。  
パスワードは、セットアップ時に決めたパスワードです。

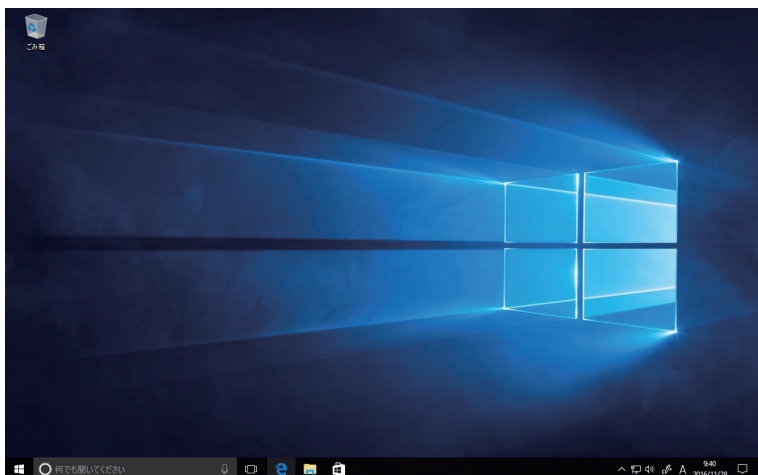
#### ポイント!

キーの押しすぎに気を付けましょう。入力したパスワードは、●で伏せて表示されます。まちがえないよう落ち着いて入力しましょう。



### 5

キーボードの [Enter] キーを押します。



少しすると、**デスクトップ画面**が表示されます。

この画面から、パソコンのさまざまな操作をはじめることができます。



## 2

パソコンのルールを覚えましょう



## 2

## はじめに出てくる画面の見方



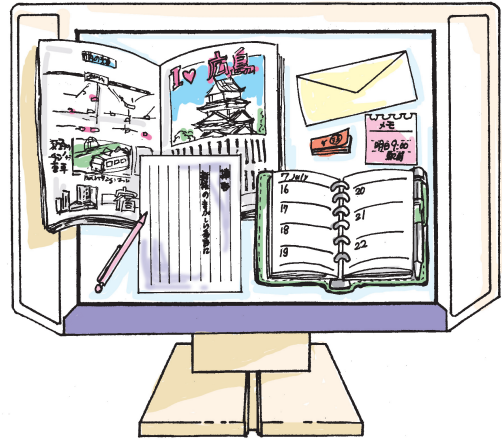
### ● デスクトップ画面

パソコンの電源を入れてサインインすると、「デスクトップ」と呼ばれる画面が表示されます。この画面上でさまざまなアプリを起動して、パソコンを使うことができます。なお、ウィンドウズ10では、ウィンドウズ8で採用されていたスタート画面が無くなり、デスクトップからすべての操作を行う仕組みになっています。



## ■ デスクトップ

**デスクトップ**は、日本語に訳すと「机の上」という意味になります。机の上で手紙を書いたり、本を読んだりするのと同じように、パソコンでもメールを書いたり、インターネットで調べものができます。



## ■ アイコン

画面に表示される小さなマークを**アイコン**と呼んでいます。日本語では「絵文字」という意味になります。パソコンでは、文字で表現するより、絵の方がわかりやすいので、あらゆるものをアイコンで表します。

アイコンの数や位置は、パソコンの機種によって若干異なりますので、必ずしも本書と同じというわけではありません。

なお、**ごみ箱**という名前のアイコンは、どのパソコンにも共通して用意されています。これは、いらなくなったデータを捨てるときに使います。

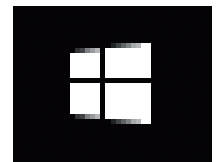


## ■ タスクバー

画面の下に表示されている横棒を**タスクバー**と呼んでいます。タスクは、日本語に訳すと「仕事」という意味です。机の上に書類や本などを山積みにしてしまうと、いざ必要なものを取り出そうとしたときに大変な思いをしますよね。ところが、パソコンの机の上、つまりデスクトップなら、書類画面がいくら重なっていてもタスクバーに書類のアイコンがすべて表示されます。常に仕事の状況が分かるので、使いたい書類もすぐに取り出せます。

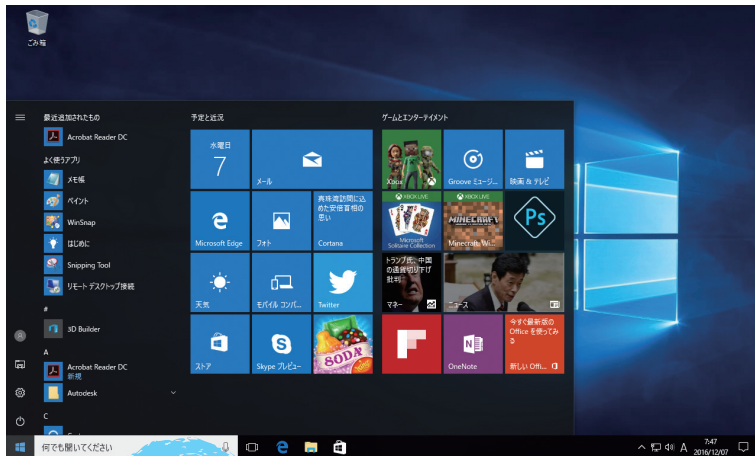
## ■ スタートボタン

**スタートボタン**をクリックすると、スタートメニューが表示されます。また、右クリックで各種メニューを表示できます。



## ● スタートメニュー

デスクトップ画面でスタートボタンをクリックすると、「スタートメニュー」と呼ばれる画面が表示されます。この画面からは、アプリの起動、パソコンの設定、電源操作など、さまざまな操作を行えます。文字通り、さまざまな操作の起点となる場所だと考えるとわかりやすいでしょう。

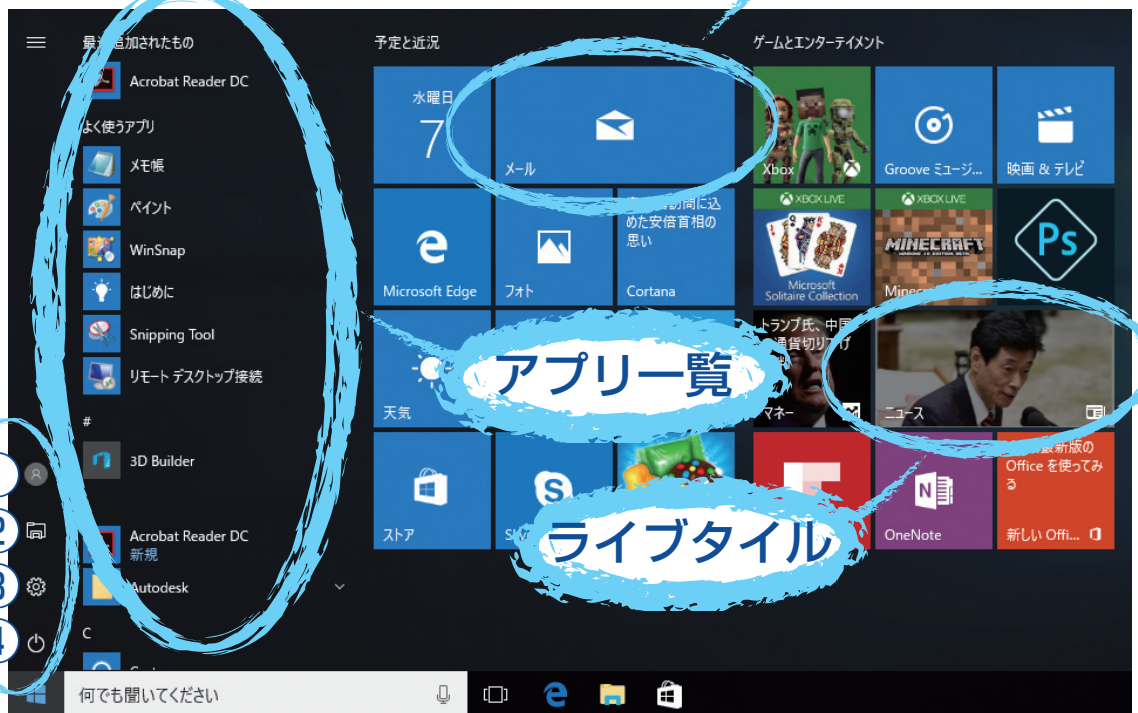


▶ スタートメニューは、デスクトップ左下隅にあるスタートボタンをクリックすると表示されます。



クリックして表示

タイル



アプリ一覧

ライブタイル

- ① ユーザー
- ② エクスプローラー
- ③ 設定
- ④ 電源

## ■ ユーザー

このボタンをクリックすると、ウィンドウズにサインインしているユーザーの設定変更やサインアウトなどの操作ができます。

## ■ エクスプローラー

このボタンをクリックすると、ファイルを操作するためのフォルダー画面が表示されます。

## ■ 設定

このボタンをクリックすると、パソコン全般の設定をするための画面が表示されます。

## ■ 電源

このボタンをクリックすると、シャットダウン、スリープ、再起動などの操作を行えます。

## ■ アプリ一覧

パソコンに入っているアプリの一覧が表示されています。アプリ名のイニシャルごとに分類されていて、目的のアプリを見つけやすいのが特徴です。また、最近インストールしたアプリは「最近追加されたもの」に、ふだんよく使っているアプリは「よく使うアプリ」に表示されます。

## ■ タイル・ライブタイル

タイル状にカラフルに敷き詰められた四角形ひとつひとつをタイルと呼んでいます。タイルをクリックすると、各種アプリを画面に呼び出せます。

インターネットにつながっていれば、天気やニュースなどの最新情報をタイル内に随時表示します。これはライブタイルという機能で、くるくると表示が変わるのでパソコンをつけておくだけでも楽しめます。

# 3

## マウスの使い方



パソコンに指示を出す**マウス**の使い方を解説します。はじめのうちは、緊張して手に汗をかいてしまう、まさに“手に汗にぎる”状態になるかもしれません。パソコンは、主にマウスを使って操作していくことになります。ここでしっかりと使い方を覚えましょう。マウスの使い方は、デスクトップ画面を使って練習します。

### ■ 持ち方

マウスは、左右どちらの手でも使えます。本書では、右手で使った場合を例にとって説明しています。はじめは、マウスに付いているボタンは押さないようにしましょう。



#### 1

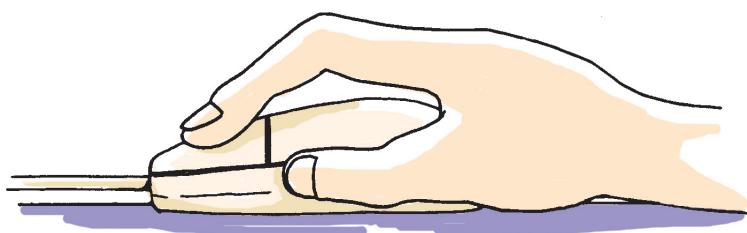
マウスには左右にボタンが付いています。

左のボタンに人差し指、右のボタンには中指をのせ、残りの指はまわりを包むように軽くにぎりましょう。

左右のボタンの間に付いている小さなボタンは、はじめのうちは使いません。

#### ポイント!

人差し指と中指は、指全体をのせるのではなく、指先だけを付けるようにするのがポイントです。



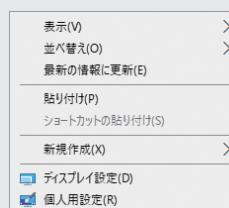
#### 2

手首は浮かせないで、机に付けてしましましょう。手首を中心にしてマウスを動かすと楽に操作できます。

### あれ？突然変なものが出た！

ひょっとして、画面にグレーの四角いものが出てきていませんか？ あわてることはありません。これは右のボタンを押すと出てくる画面なのです。

消し方は28ページの右クリックで解説しています。





## ■ ポイント



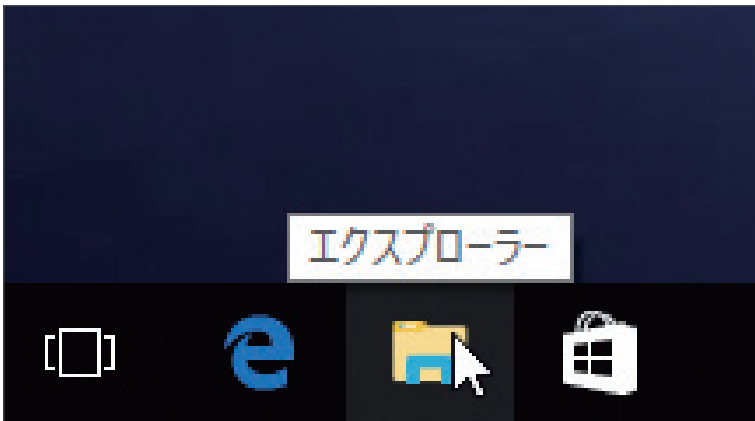
◀ デスクトップには、白い矢印が表示されています。これを**マウスポインター**といいます。

**1**  
マウスを動かしてみましょう。白い矢印（マウスポインター）は、マウスを動かすと同じ方向に動いていきます。



◀ 白い矢印を目的の場所にあてることを**ポイント**といいます。

**2**  
このときマウスのボタンは押しませんが、人差し指は左ボタン、中指は右ボタンにのせたまま動かすようにしましょう。



**3**  
画面左下の□をポイントしてみましょう。

◀ 「エクスプローラー」の表示が出てきたら、ポイント成功です。



## うまくいかないときは・・・これが「ポイント」のコツ



? ポイントしても表示が出てこない

◀ 矢印の先端がアイコンからはみ出していないですか？

ポイントするときは、矢印の先端が目的の場所にあたっていないと反応しません。できるだけ真ん中に合わせるように心がけましょう。

アイコンのように絵と文字がある場合は、絵に合わせる方がうまくいきます。

### ちょっとひとこと

マウスポインターは七変化



マウスポインターは通常白い矢印ですが、状況によってはいろいろな形に変化します。

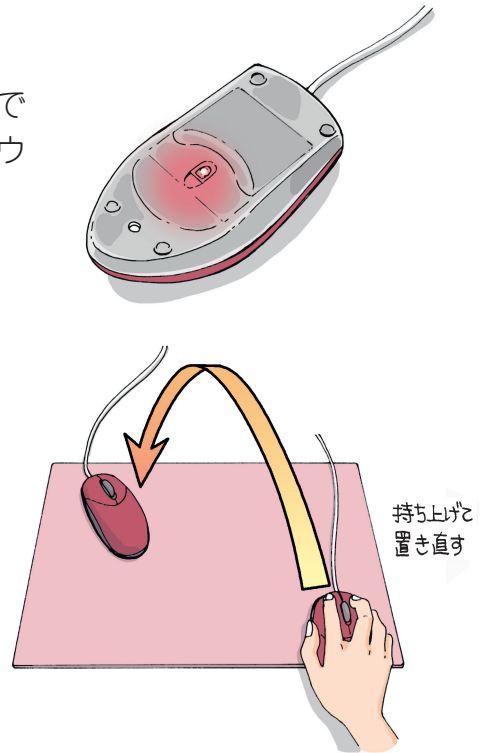


## ちょっとひとこと

### もっと動かしたいのに・・・

画面の矢印をもっと動かしたいのに、机の端まできてしまってこれ以上マウスを動かさせない（マウスが動かない）、とお困りではありませんか？

このような場合は、一度マウスを持ち上げて、余裕のある場所へ置き直してみましょう。このとき画面の矢印は動きません。マウスの裏側には、光学センサーがついています。マウスが接触している物の表面をセンサーが読み取って、位置や方向が伝わり、画面の矢印が動く仕組みになっています。つまり、マウスを持ち上げているときは接触面から読み取りができないので、画面の矢印も動かないのです。



### 矢印がうまく動かない・・・

画面の矢印が手の動きに反応しなかったり、思う場所にうまく動かない場合は、マウスが接触している台を変えてみましょう。光学センサーの特性上、つるつるした光沢面や真っ白な物、鏡ではうまく読み取ることができず反応しないことがあります。マウスパッドと呼ばれる敷物を使っているときは、机の上で直接使ってみると反応がよくなることもあります。光学式マウス専用のマウスパッドを使うのもおすすめです。

また、パソコン本体にコードを差し込まないで使えるワイヤレスのマウスを使用している場合は、電池が少なくなると反応が鈍くなってきます。おかしいなと思ったら、電池を入れ替えてみるとよいでしょう。

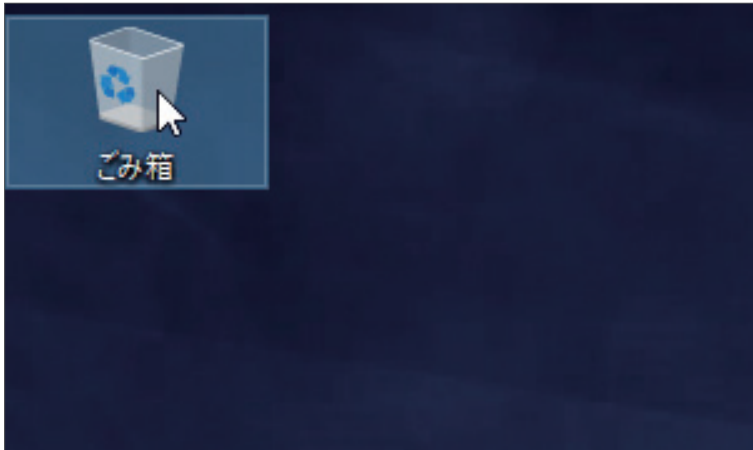
## ■ クリック

はじめはマウスポインターを、デスクトップの中央に置いて試すようにしましょう。



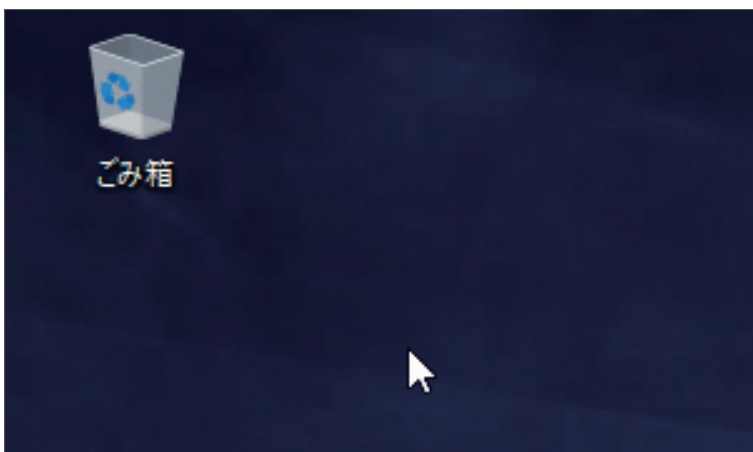
マウスの左ボタンを“カチッ”と1回押すことを**クリック**といいます。

なにかを選択したり、ボタンを押して実行したりするときに行う操作です。



**1**  
ごみ箱をクリックしてみましょう。

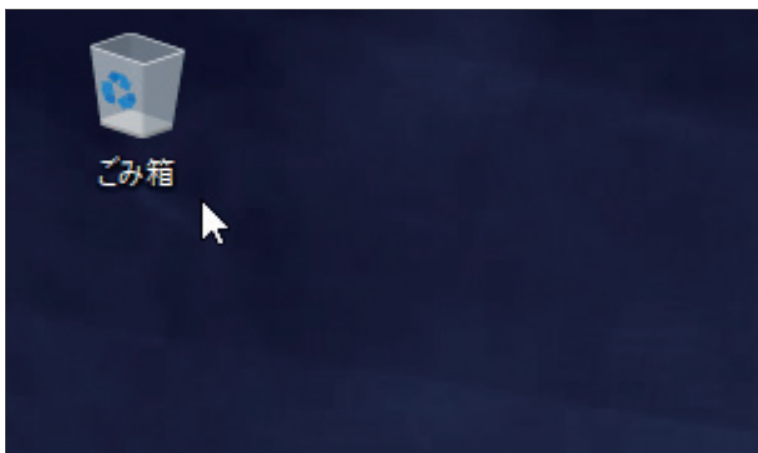
◀ アイコンが青色の四角で囲まれたら、クリック成功です。



**2**  
ごみ箱の外側でクリックしてみましょう。

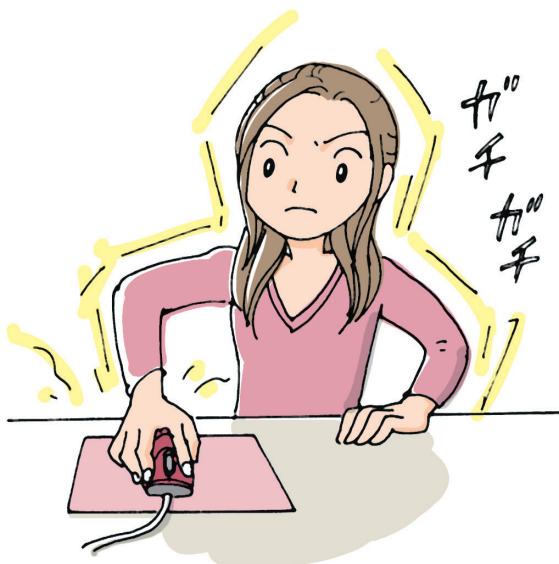
◀ アイコンの外側の水色が消えます。これで選択を解除したことになります。

## うまくいかないときは・・・これが「クリック」のコツ



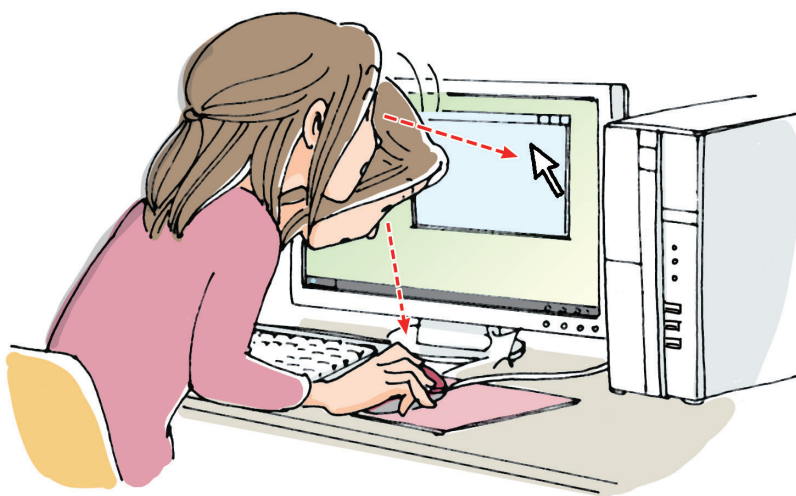
### ? クリックしても色が変わらない

矢印の先端がアイコンからはみ出していないですか？ クリックするときは、矢印の先端が目的の場所にあたっていないと反応しません。アイコンの場合は、絵の真ん中に合わせると、うまくいきます。



### ? 力が入りすぎていませんか？

“グイッ”と力を入れたり、“バンッ”と弾みをつけたりすると、クリックした瞬間に、矢印の先端がアイコンからはみ出してしまう恐れがあります。



### ? クリックするときに、手元のマウスを見ていませんか？

せっかく矢印を目的の位置に合わせても、クリックするときにマウスを見てしまっては、視線が動いた瞬間に矢印がずれてしまいます。クリックするときは、マウスではなく、常に画面の矢印を見るように心がけましょう。

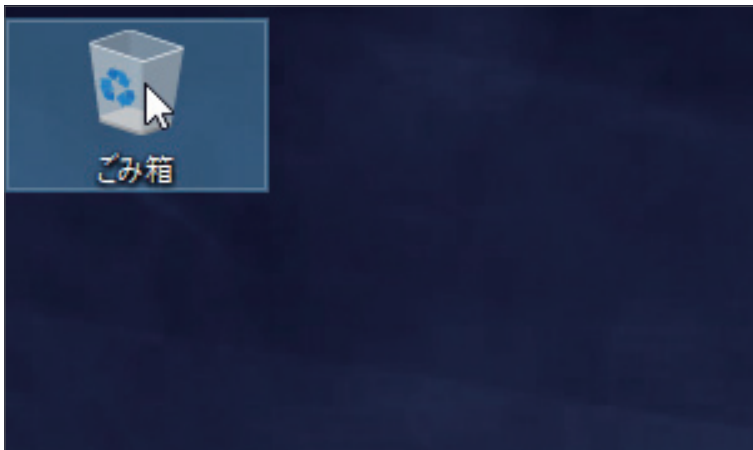
## ■ ダブルクリック

はじめはマウスポインターを、デスクトップの中央に置いて試すようにしましょう。

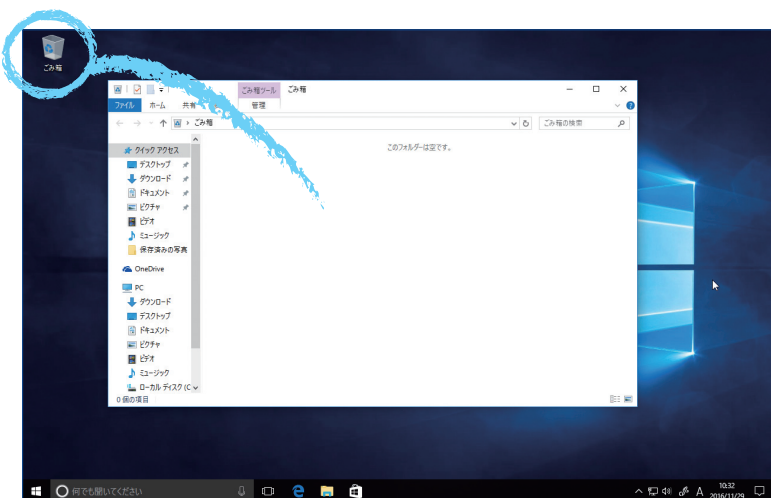


マウスの左ボタンを“カチカチッ”と素早く2回押すことを**ダブルクリック**といいます。

主に画面を表示させるときに行う操作です。

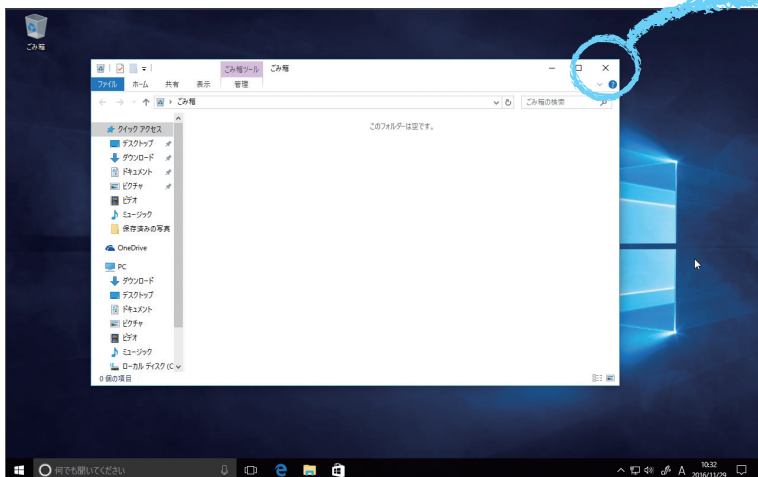


**1**  
ごみ箱をダブルクリックしてみましょう。



◀ デスクトップに、左の絵のような画面が出てきたら、ダブルクリック成功です。

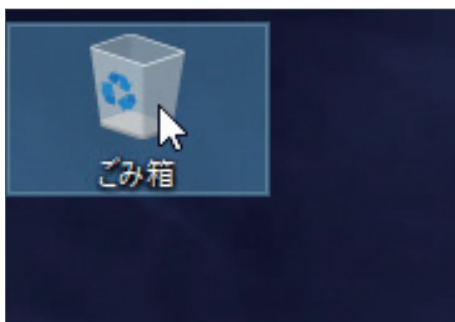
画面の大きさや位置は、左の絵と異なるかもしれませんが、ここでは問題ありません。



2

出てきた画面を消すには、右上に付いている  ボタンをクリックします。

## うまくいかないときは・・・これが「ダブルクリック」のコツ



? アイコンが水色の四角で囲まれるだけで、ウィンドウが出てこない

ダブルクリックのタイミングが遅いようです。1回目と2回目の間隔が空いてしまうと、「クリック」を2回行ったことになってしまいます。ドアをノックするタイミングと同じように“カチカチッ”と素早く2回押しましょう。

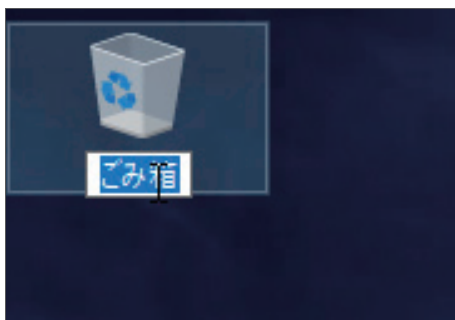


? なにも変わらない

力が入りすぎて、矢印の位置が1回目と2回目ですれてしまったようです。ダブルクリックは同じ位置で行わないと反応しません。

また、アイコンのように絵と文字がある場合は、絵に合わせる方がうまくいきます。

マウスの脇をしっかりとぎり、指先の力はもう少し抜いて行ってみましょう。



? アイコンの文字が青く反転して、マウスポインターの矢印の形が変わってしまう

ダブルクリックした場所がずれてしまったようです。アイコンの絵の上で操作してみましょう。

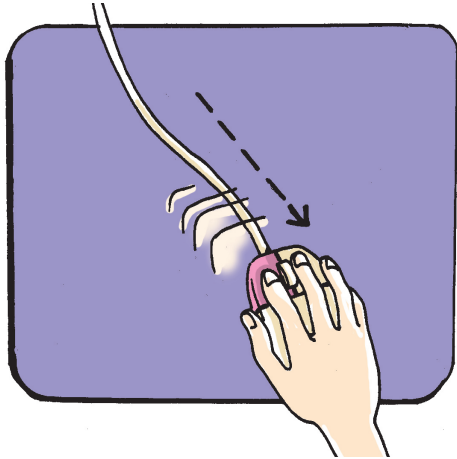
2

パソコンのルールを覚えましょう



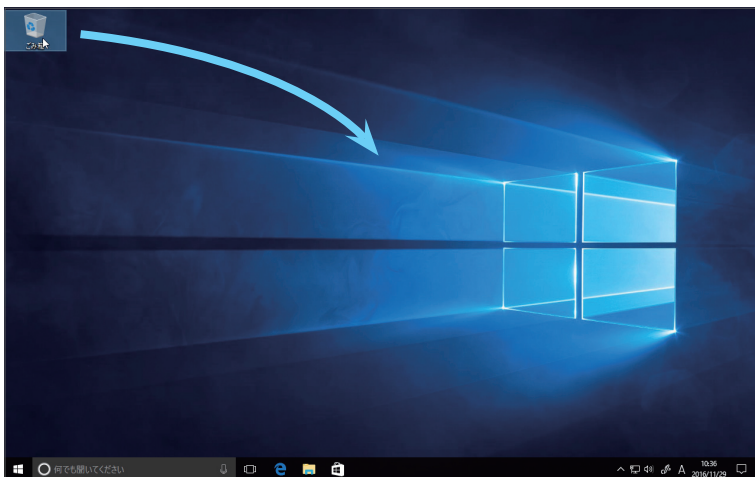
## ■ ドラッグ

はじめはマウスポインターを、デスクトップの中央に置いて試すようにしましょう。



マウスの左ボタンを押したまま動かすことを**ドラッグ**といいます。

ドラッグは「引きずる」という意味で、アイコンやウィンドウ画面を動かすときに行う操作です。



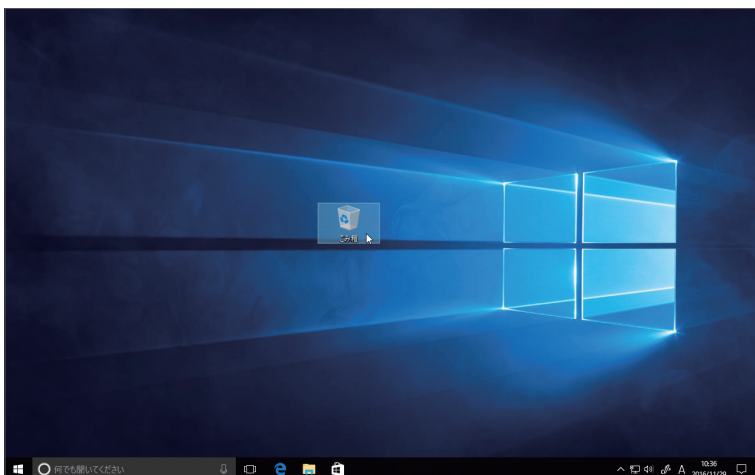
ごみ箱をデスクトップの中央へ、ドラッグして動かしてみましょう。

1

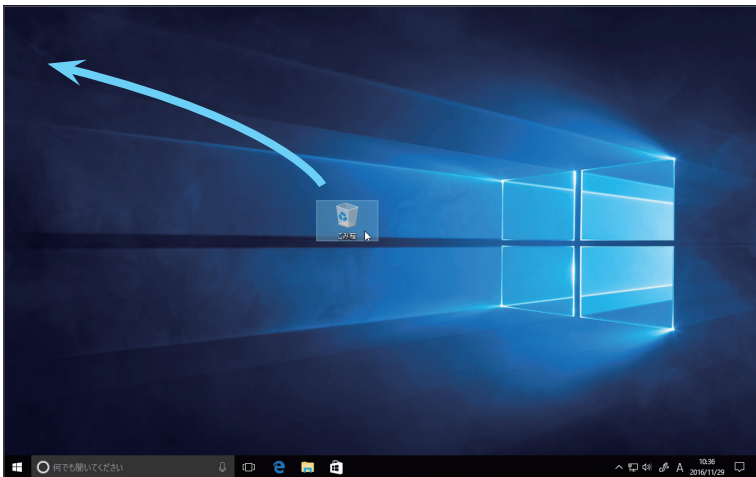
ごみ箱にマウスポインターをあてます（ポイントします）。

2

ごみ箱を中央へドラッグしてみましょう。



◀ 左ボタンから指を放したあたりにごみ箱が移動すれば、ドラッグ成功です。

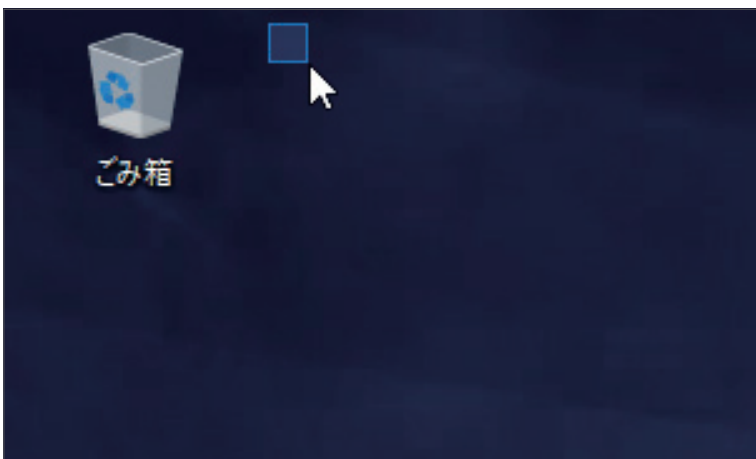


**3**  
元の位置にドラッグで戻しましょう。

2

パソコンのルールを覚えましょう

## うまくいかないときは・・・これが「ドラッグ」のコツ



? 枠線になってしまふ

◀ 矢印がアイコンから離れすぎていませんか？

ドラッグするときは、矢印の先端が絵の真ん中にあたるように心がけましょう。

? ごみ箱が動かない

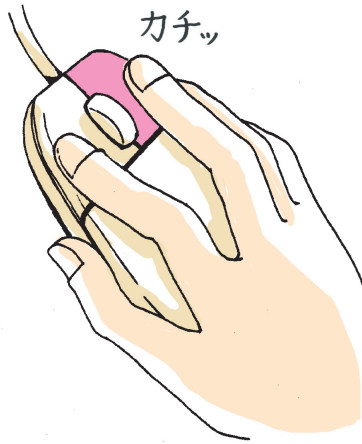
ドラッグの際、左ボタンを押し忘れていたり、ごみ箱の絵に合わせる前から、左ボタンを押し放しにしているませんか？

ごみ箱を人差し指で押さえつけながら動かすイメージで操作すると、うまくいきます。

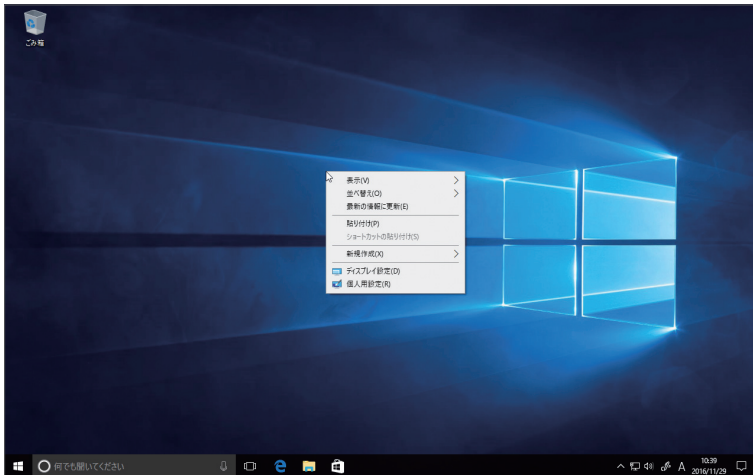


## ■ 右クリック

はじめはマウスポインターを、デスクトップの中央に置いて試すようにしましょう。



マウスの右ボタンを“カチッ”と1回押すことを**右クリック**といいます。

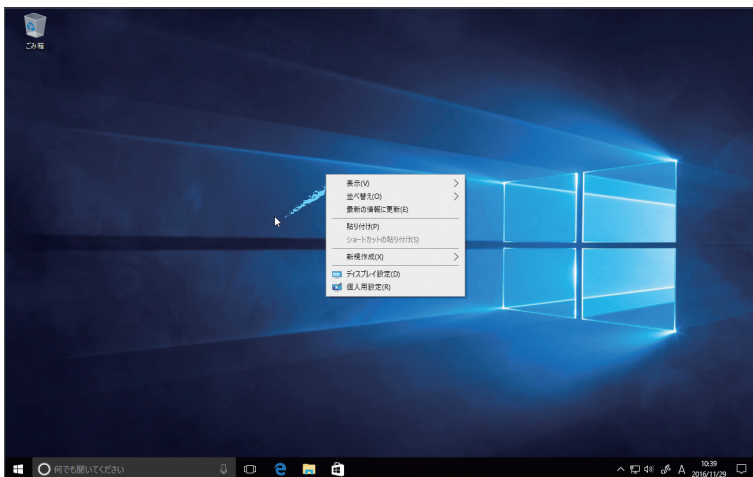


### 1

デスクトップ（中央のアイコンのないところ）で右クリックしてみましょう。

◀ グレーの小さな画面が出てきます。

通常、クリックで進めていく操作も、右クリックを使えば、ある程度手順を省くことができます。ただし、はじめのうちは通常の操作方法を覚えた方がいいので、本書では右クリックはあまり使いません。



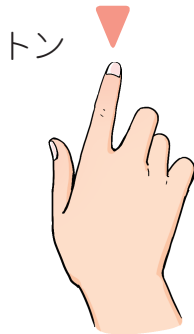
### 2

グレーの画面を消したいときは、グレーの画面の外側に矢印を出し、(左のボタンを使って)クリックします。

## ■タッチ操作

タッチ対応パソコンの場合は、指で操作することもできます。タッチ操作には数種類のやり方がありますが、主に使う操作は以下の6通りです。

**なお、本書ではマウスでの操作方法を中心に解説していきます。**マウス操作をタッチ操作に読み替えて操作した場合、一部本書の通り再現されない機能もあります。



### タップ

画面を指先で「トン」と1回たたき動作をタップといいます。

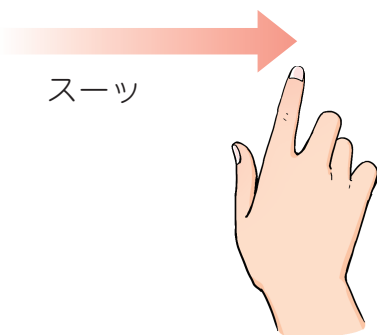
マウスの「クリック」にあたる操作です。



### ダブルタップ

画面を指先で「トントン」と素早く2回たたき動作をダブルタップといいます。

マウスの「ダブルクリック」にあたる操作です。



### スライド

画面に指先をつけたままスーッと上下左右に動かします。

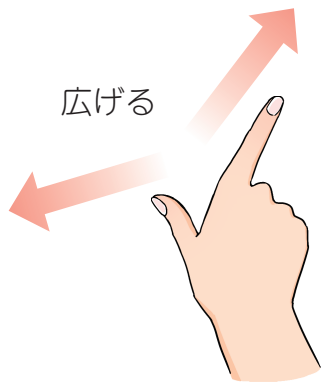
マウスの「ドラッグ」にあたるような操作です。



### 長押し

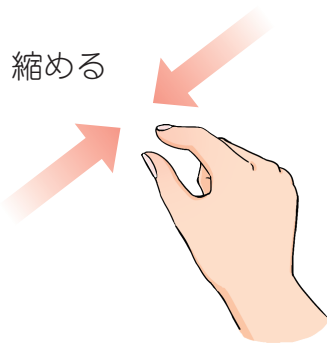
画面に指先を1秒以上ジューッとつけたままにする動作を長押しといいます。デスクトップ画面の場合は、長押しするとグレーの小さな画面が出てきます。

マウスの「右クリック」にあたる操作です。



### ストレッチ

2本の指を合わせた状態から広げる動作です。ストレッチには「引き伸ばす」という意味があります。画面を拡大したいときに使います。



### ピンチ

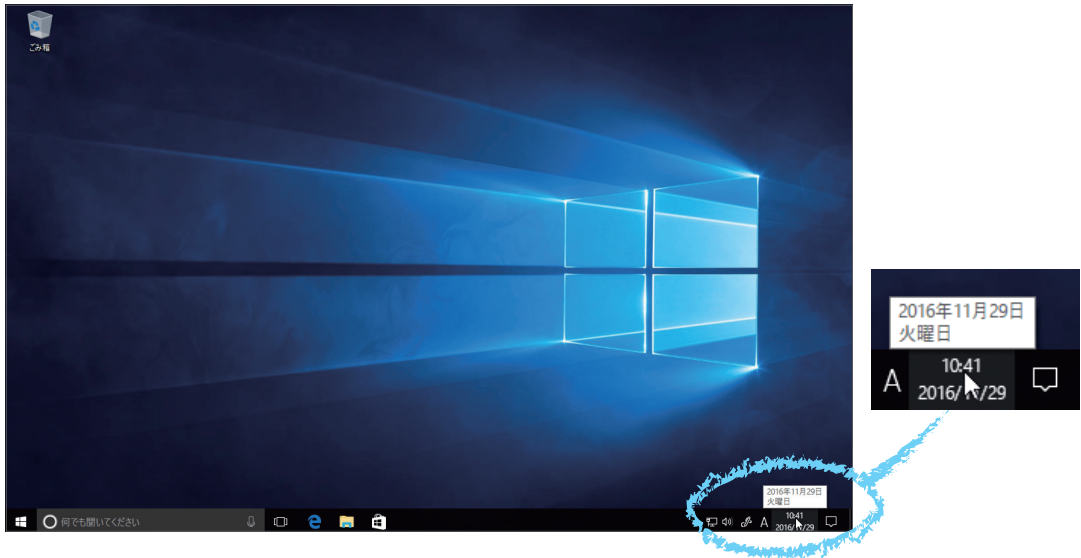
ストレッチと逆の動きで、広げた2本の指を合わせるように閉じる動作です。ピンチは「つまむ」という意味です。画面を縮小したいときに使います。



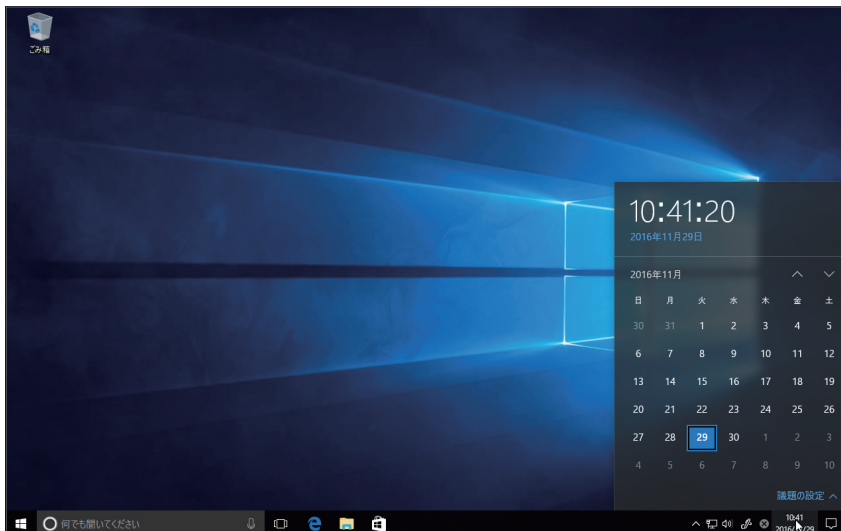


## マウス操作のおさらい

- 1 デスクトップの右下に表示されている時刻をポイントしてみましょう。その日の日付が表示されたらポイント成功です。



- 2 今度は、時刻の上をクリックしてみましょう。下の図のようにカレンダーと時計の画面が出てきたらクリック成功です。この画面以外のどこかをクリックすると、画面が消えます。

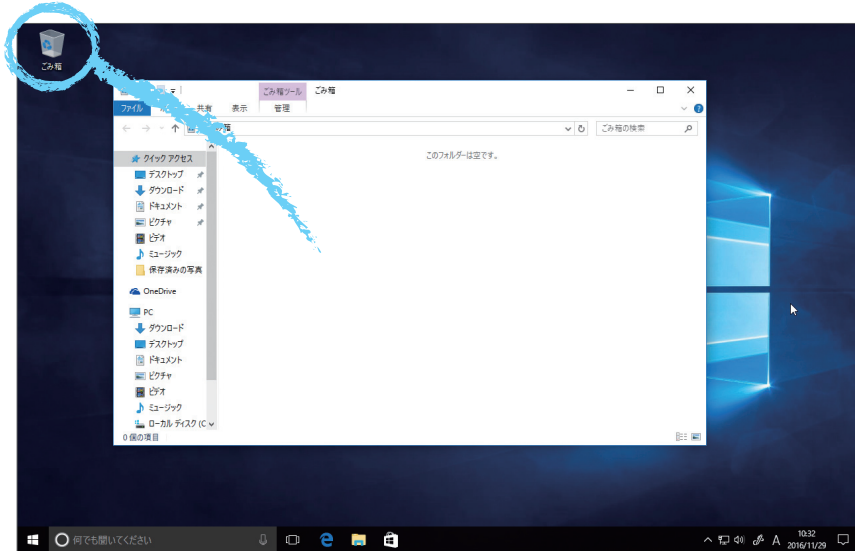


2

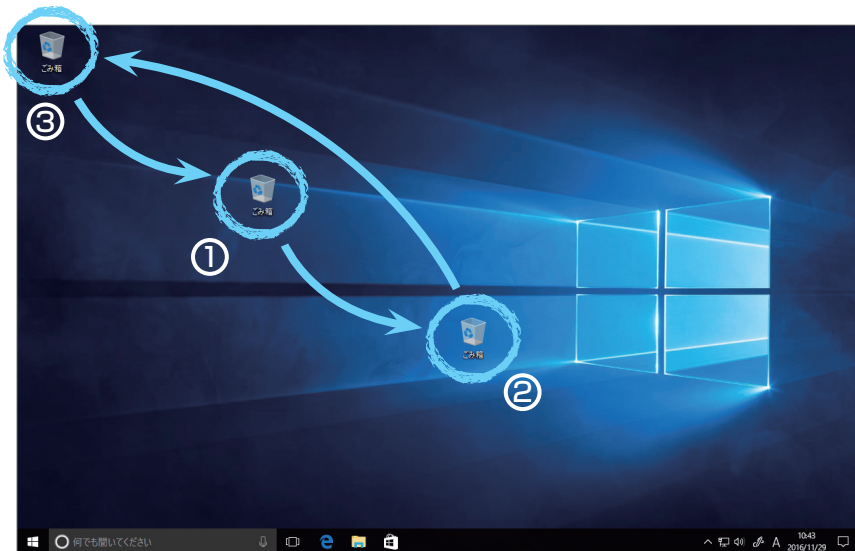
パソコンのルールを覚えましょう



- 3 デスクトップのごみ箱のアイコンをダブルクリックしてみましょう。  
下の図のような画面が出てきたらダブルクリック成功です。  
出てきた画面を消すには、右上に付いている  ボタンをクリックします。



- 4 ごみ箱を下の図のような位置へ順番にドラッグしてみましょう。  
ごみ箱が動いたらドラッグ成功です。



- 5 ごみ箱の上で右クリックしてみましょう。  
グレーの画面が出てきたら右クリック成功です。  
さて、この画面を消すにはどうすればよいでしょう？  
わからないときは28ページを参照してください。

